

第3回島根県公共事業再評価委員会資料（和木波子海岸）

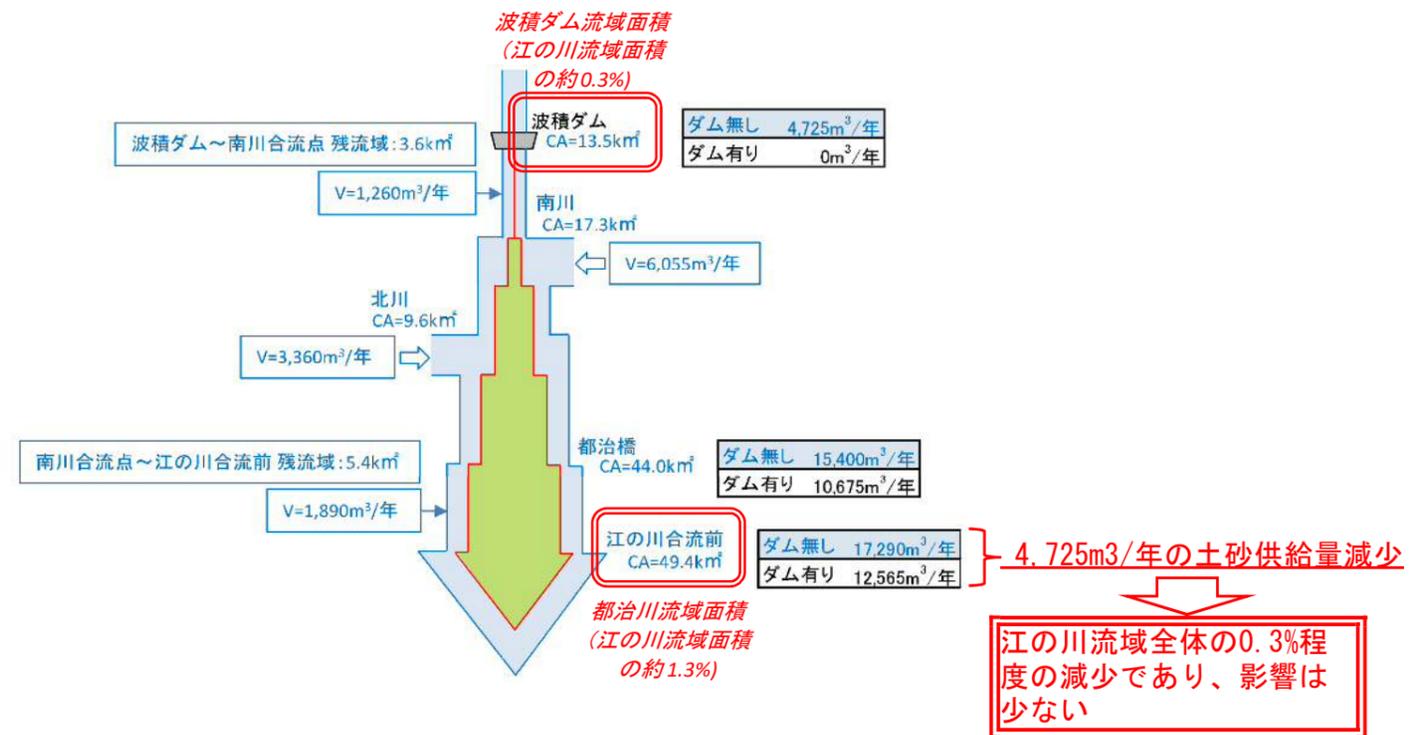
①和木工区の工事の進め方(シナリオ)



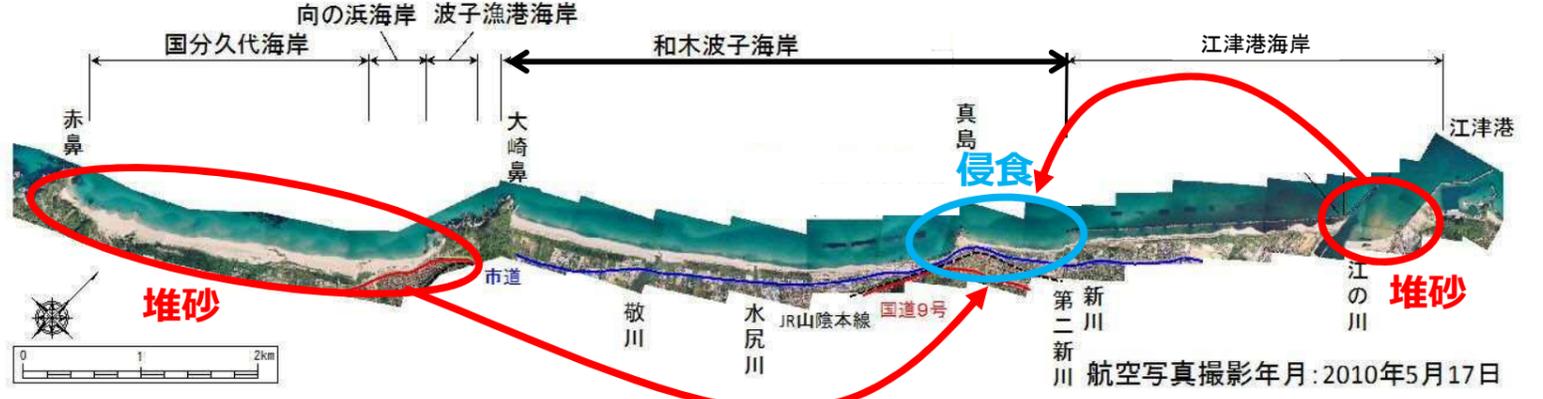
- 【和木工区の整備順序】**
- ①波浪の影響をおさえ砂浜の安定化を図るため、沖合に人工リーフを施工
    - ・H30～34年度 西側の人工リーフ
    - ・H35～39年度 東側の人工リーフ
  - ②背後地の堆砂状況を確認しながら養浜を実施
    - ・H40～46年度
- \* 上記整備期間中の侵食を抑制するため、応急処置として捨石工等実施 (H30完了予定)
- 【1年あたり施工量の概略の目安】**
- ・人工リーフ 40m/年
  - ・養浜 38,500m³/年

**【注意事項】**  
 国からの交付金を得て実施する事業であるため、予算措置状況により進捗状況が変わることがあります

②ダム建設と海岸侵食との関係



【補足】サンドリサイクルの実施



航空写真撮影年月: 2010年5月17日

# 和木波子海岸（江津市） 侵食対策事業

## 【海岸の概要】

- 和木波子海岸は江津市の西部に位置し、その西端は県立石見海浜公園の一部である大崎鼻、東端は江の川左岸の江津港海岸に挟まれた延長約6.2kmの砂浜海岸です。昭和60年頃から砂浜の侵食が顕著になりました。
- 背後には人家、工場、事業所、ライフラインとしてJR山陰本線、国道9号、市道等が近接しています。

## 【事業の概要】

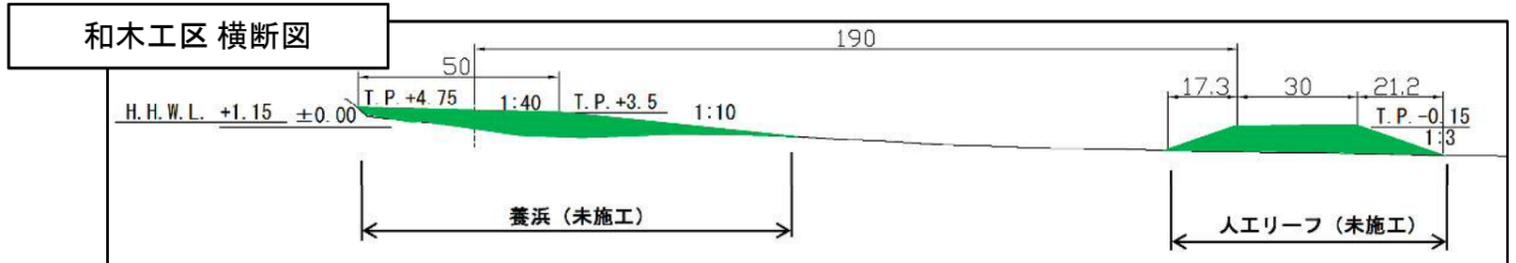
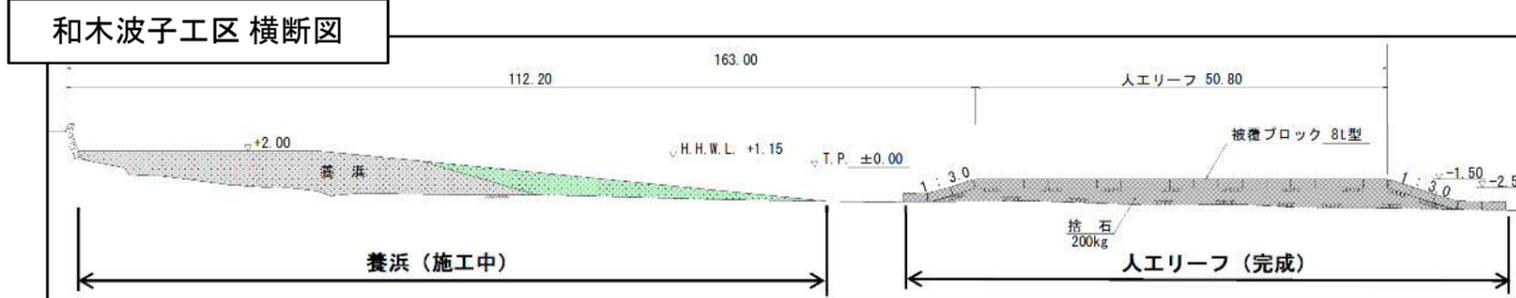
- 人工リーフ（沖合に設置する浅瀬の堤防）や養浜（砂浜の造成）等の海岸保全施設を整備し、冬季風浪や波浪による侵食から住民の人命・財産や国土を保全します。
- 砂浜の復元により白砂青松のような良好な景観や、海洋レクリエーション空間の形成が期待されます。



【和木波子工区 海岸状況】平成29年5月撮影



【和木波子工区 波浪状況】平成20年11月撮影



【和木工区 海岸状況】平成29年6月撮影



【和木工区 被災状況】平成22年撮影